

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



医療業界におけるRPAの可能性について ～RPAの基礎から導入事例まで～

UiPath株式会社
ソリューション本部 ストラテジックデザイン部 部長
梶尾 大輔



問い合わせ先：
共通：jp-publicbusiness-core@uipath.com
担当：湯浅 katsuya.yuasa@uipath.com

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



自動化のコアテクノロジー

RPAとは？

RPAとは？ PC上の作業を自動化

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath Reboot™
Work.

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、
PCなどを用いて行われる作業を、自動化できるソフトウェアロボット

正確に処理

作業ミスや疲労によるヒューマンエラーなく「正確」に作業を実施させることが可能

高速に実施

人の作業スピードのレベルを超えて「高速に処理」を実施することが可能



システム構築不要

新たなシステム構築などを行う事なく
既存資産を活かした自動化が可能



こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath ERPデモシステム
08/30/2021
12:14:35 午後

顧客管理システム / 顧客管理

登録番号: 140270725 顧客No. 116884

企業名:

住所:

電話番号:

表示設定

- 経理システム
- 顧客管理システム
- 勤怠管理システム

メインメニュー
 画面検索
 帳票出力
 メール
 詳細設定

終了 キャンセル 実行

Copyright UiPath. All rights reserved

顧客データ Yosuke Kano

ファイル ホーム 挿入 描画 ページ 数式 データ 校閲 表示 開発 アドイン ヘルプ

スタイル

A1 顧客No

顧客No	企業名	住所	電話番号
1	A株式会社	東京都	00-0000-0001
2	B株式会社	愛知県	00-0000-0002
3	C株式会社	大阪府	00-0000-0003
4	D株式会社	北海道	00-0000-0004
5	E株式会社	青森県	00-0000-0005
6	F株式会社	岩手県	00-0000-0006
7	G株式会社	宮城県	00-0000-0007
8	H株式会社	秋田県	00-0000-0008
9	I株式会社	山形県	00-0000-0009
10	J株式会社	福島県	00-0000-0010
11	K株式会社	茨城県	00-0000-0011
12	L株式会社	栃木県	00-0000-0012
13	M株式会社	群馬県	00-0000-0013
14	N株式会社	埼玉県	00-0000-0014
15	O株式会社	千葉県	00-0000-0015
16	P株式会社	神奈川県	00-0000-0016

準備完了 85%

講演ではデモ動画を投影しました

RPA導入による定量効果と定性効果

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath Reboot™
Work.

- RPA化することで生産性向上や作業時間の削減といった定量効果はもちろん、
- 従業員をダブルチェック業務から解放し、業務品質を向上させ、ミスできない仕事を行う従業員のストレスを軽減する効果も。

RPAの特徴

- > 人間の**数倍～数十倍**の処理速度
- > **大量**処理を**正確に、休みなく**実行
- > **既存システムを改修する事なく、人手の部分**を自動化

RPA化に適した業務パターン

代行 入力	- メール添付、紙、Excelに集積されたデータを基幹システムに自動転記	集計・ 出力	- 内部・外部等各システムからデータを収集し、集約または加工
突合・ 判断	- 異なる画面からの情報を比較し、内容を精査	DB補 正・登録	- 複数の異なるシステムとアプリケーション間を跨がり、入力・登録処理を実行
監視	- 既存の複数システムのデータを監視し、閾値を超えた事象を自動で報告	照会受 付・回答	- 情報を通知・共有、または回答文をメールにて自動送付

RPAによる働き方改革

ロボットが決められた作業を**高速に繰り返**し、**正確に**実施

オフィスワークの3Mから解放

面倒：時間ばかりかかる

マンネリ：単純作業でつまらない

ミスできない：間違えたら怒られる



負荷・ストレス
からの解放



次なる活動への
モチベーション



より価値の高い
業務への従事

DXに向けて重要な“業務改善”と“自動化”の位置づけ

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



「廃止」「簡素化」「標準化」「集約化」「自動化」「平準化」「移管」の7つのいずれかを行って業務の効率化を図る。「廃止」が一番効果が高く、業務の実施目的を理解したうえで適切な方向性を決定する必要がある。

目的		視点	考え方
業務量を 適正化する	業務量を 減らす	廃止	不必要な業務を廃止し、重要業務の時間創出、労力の最適化を図る。廃止するためには業務の目的を確りと理解することが必要
		簡素化	業務を簡素化し、重要業務の時間創出、労力の最適化を図る
		標準化	目的が同じものの異なる業務をあるべき業務に標準化し、業務効率化を実現する
		集約化	複数組織で重複する業務を集約し、ムダの削減と専門化による合理化を図る
	自動化	自動化によって自動処理できることは、極力人手ではやらせず、業務効率の向上と合理化を図る	
	ムダな 時間を減らす	平準化	業務量に季節変動や時間変動がある場合に、閑散期に他の業務も兼務していくことで、繁忙期に備えた余剰人員を削減する
時間単価を適正化する		移管	定型業務・付加価値の低い業務を単価の高い従業員から移管し、時間単価を下げ、彼らは本来注力すべき付加価値業務に注力させる

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath 会社紹介

会社概要

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath Reboot™
Work.

会社概要

社名 UiPath株式会社 (UiPath K.K.)

設立 2017年2月

代表者 代表取締役CEO 長谷川康一

本社 米国UiPath Inc.

所在地 ニューヨーク

代表者 共同創立者兼共同CEO ダニエル・ディネス
共同CEO ロバート・エンスリン

国内拠点

東京 〒100-0004
東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル 1F SPACES

大阪 〒530-0002
大阪府大阪市北区曾根崎新地1-13-22
御堂筋フロンティア 1F WeWork

名古屋 〒450-6321
愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1
JPタワー名古屋 21F

豊田 〒471-0034
愛知県豊田市小阪本町1-5-5
YAMATO BLDG 2F

九州 〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-25
アクロスキューブ博多駅前 4F

UiPathの最新状況とオートメーションのトレンド UiPathによりRPAは主流の技術に

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath Reboot™
Work.

“ スクレイピングツールから始まった1行のコードが、
2017年にエンタープライズRPAとして、2019年にプラット
フォームとして認知され、2021年には29億ドル市場にまで
成長したRPAは、すでに**企業において主流な技術**となった。
—UiPath CEO ダニエル・ディネス— ”



2.8億

Automation Cloud™
によって全世界で実行
された自動化事例数

+40%

Everest Groupによる
RPAにより改善した
効率・顧客満足度・
生産性

\$1B+

2022年7月時点での
UiPath全世界における
年間定期経常収益 (ARR)

34.1%

2021年Gartner®による
RPAベンダーにおける
UiPathシェア*

* Gartner, Gartner, Market Share Analysis: Robotic Process Automation, Worldwide, 2021, Varsha Mehta, et al., 6 June 2022 Table 1: RPA Software Market Share by Revenue, Worldwide, 2021



第三者機関の評価

顧客満足度1位

日経BP

日経コンピュータ
顧客満足度調査 2022-2023
RPAソフト/サービス部門

マジック・クアドラントで
リーダーの1社に

Gartner®

2022年ガートナー
RPAについての
Magic Quadrant™*

RPA市場：ベンダー別
売上金額シェア1位

ITR

ITR Market View:
RPA/OCR/BMP市場2022
RPA市場：
ベンダー別売上金額シェア
(2022年度予測)

The Forrester Waveで
リーダーに

Forrester

The Forrester Wave™：
2021年第1四半期
RPAレポート

国内大手企業における
ブランド浸透率1位

MM総研

RPA国内
利用動向調査 2020

沿革

- 2005** ● ルーマニアのブカレストにDeskOver社を設立
- 2015** ● UiPathエンタープライズオートメーションプラットフォームを発表
● UiPathに社名変更・米国で法人化
- 2017** ● 日本法人としてUiPath株式会社を設立
- 2020** ● AIと連携したエンドツーエンドの自動化プラットフォームを販売開始

*...Gartner, Magic Quadrant for Robotic Process Automation, Saikat Ray, Arthur Villa, Melanie Alexander, Keith Guttridge, Andy Wang, Paul Vincent, et al., 25 July 2022

Gartnerは、Gartnerリサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようにテクノロジーユーザーに助言するものではありません。Gartnerリサーチの発行物は、Gartnerリサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。Gartnerは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の責任を負うものではありません。本レポートにおけるGartnerを情報源としたすべての記述は、Gartnerのクライアント向け配信購読サービスの一部として発行されたデータ、リサーチ・オピニオン、または見解に関するUiPathによる解釈であり、Gartnerによる本レポートのレビューは行われておりません。Gartnerの発行物における見解は、その発行時点における見解であり、本レポート発行時点のものではありません。Gartnerの発行物で述べられているのは、見解であって事実ではなく、事前の予告なしに変更されることがあります。GARTNERおよびMagic Quadrantは、Gartner Inc.または関連会社の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。All rights reserved.

DXを推進するための幅広い自動化手段 Business Automation Platform

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath Reboot™
Work.

製品の集合体から多層なバリューを創出するプラットフォームを提供

発見 (Discover)

プロセスやタスクの改善ポイントを継続的に発見し、
改善効果の高い領域の特定に

業務・タスクの分析



アイデア収集・管理



コミュニケーション分析



自動化 (Automate)

UIとAPIをベースとした自動化にAIを統合し、
人と自動化がシームレスに連携した
デジタルワークフォースを加速

ローコード開発



UI・API自動化と実行



AI/ML・NLPの統合



運用 (Operate)

ミッションクリティカルな自動化プログラムを大規模に実行し、
最適化するためのエンタープライズグレードの
運用プラットフォーム

管理・制御の一元化



持続的なテスト自動化



柔軟な分析・デプロイ



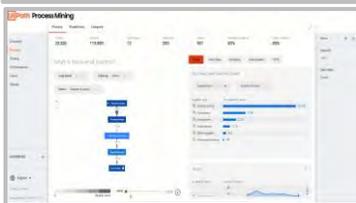
Business Automation Platformによるオートメーションとイノベーション 持続的なオートメーションの推進に向けて

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



自動化領域は人のあらゆる活動を対象に広がり、企業の持続的なオートメーション活動を支援

業務プロセスの可視化



UiPath™ Process Mining

科学的分析により業務プロセス全体を可視化し、ボトルネックや非効率性を発見し自動化業務を発見

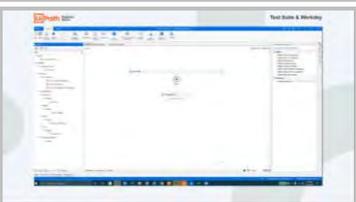
RPAとAIの融合



UiPath™ AI Center™

AIの民主化を推進し、現場のユーザーがRPAにAIモデルを組み込み、人の判断や文書チェックなど自動化の範囲を拡大

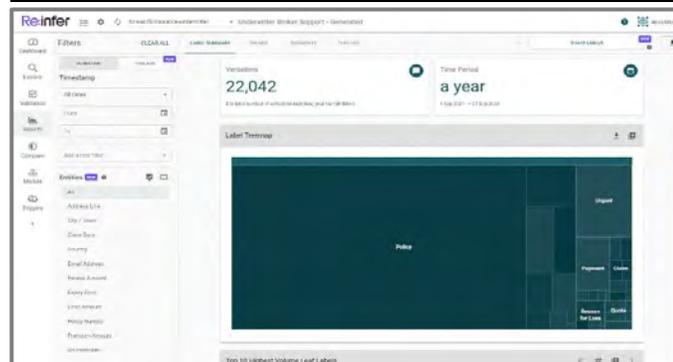
テスト作業の自動化



UiPath™ Test Suite

システム開発の現場において、幅広いテストの自動化を実現RPAワークフローも自動でテストし自動化の拡大をサポート

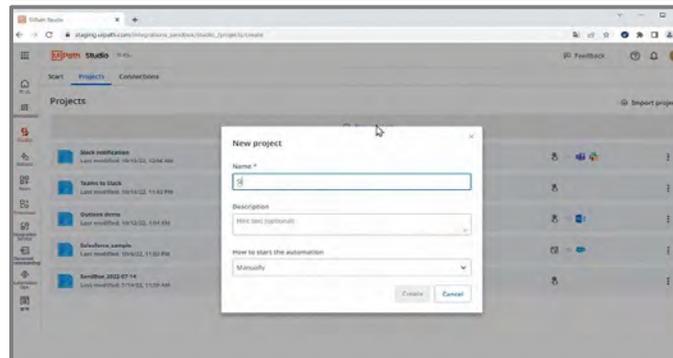
コミュニケーションの自動化



Re:infer

- ・リ・インファアは**自然言語解析**を活用してメール・電話などのコミュニケーションデータを分析・発掘し、関連度を可視化・定量化
- ・話者同士の意味・意図などを推測し後続のアクションに繋げることができ、**高度なコミュニケーション自動化**を実現

APIローコード開発・管理・実行



UiPath™ Integration Service

- ・インテグレーション・サービスは、高度なITスキルが求められる**API開発のローコード化**を実現し、かつ管理・実行機能も実装
- ・UIベースの自動化に加え、APIによる自動化が加わることで、単一プラットフォームで**多様な自動化**の提供を実現

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



日本の自動化事例

日本における実績 多様な業界での利用実績

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath Reboot™
Work.

業界を問わず国内で多くのお客様にご利用いただいております

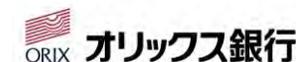
《弊社ホームページ*にて事例掲載中の企業》(一部抜粋)

金融



MS&AD

あいおいニッセイ同和損保



製造・流通

RICOH

Asahi

DNP

FUJIFILM
Value from Innovation



高品質・Everyday Low Price



伊藤忠プラスチック株式会社

KANEKA

カガクでネガイをカナエル会社

サービス

KDDI



SCSK ServiceWare Corporation

BIZREACH



人生にヨロコビを

その他

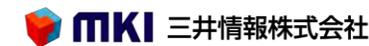


好立地、そくそく。

JXTGエネルギー



キャノンマーケティングジャパン株式会社



三井情報株式会社

国内企業の大規模な自動化実績

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



多くのお客様がUiPathを活用し、効果を創出しています

業界	会社名	削減時間 / 年 (※1)	人員換算 (※2)	金額換算 (※3)
製造	大手自動車メーカー	29万時間	約145人分相当	約10億円以上
	大手精密化学メーカー	20万時間	約100人分相当	約7億円以上
	大手電機メーカー系BPO企業	20万時間	約100人分相当	約7億円以上
	大手アパレル製造小売企業	20万時間	約100人分相当	約7億円以上
社会インフラ	大手工エネルギー小売企業	80万時間	約400人分相当	約28億円以上
	大手総合物流企業	40万時間	約200人分相当	約14億円以上
	大手通信企業	16万時間	約80人分相当	約6億円以上
	大手国際通信企業	10万時間	約50人分相当	約4億円以上
金融・保険	大手メガバンクグループ①	350万時間	約1,750人分相当	約200億円以上
	大手メガバンクグループ②	83万時間	約415人分相当	約50億円以上
	大手損害保険	64万時間	約320人分相当	約22億円以上
	大手損害保険グループ	53万時間	約265人分相当	約19億円以上
	大手生命保険	36万時間	約180人分相当	約13億円以上

日本国内

リソースシフト



※1 非公開情報およびUiPath推定分含む。2020年12月末時点

※2 従業員1名あたりの年間労働時間を2,000時間としてUiPathが換算

※3 人件費、福利厚生費等の他、波及効果（BPR等）を基にUiPathが推定

具体的な事例

営業や打ち合わせに関して往訪前準備

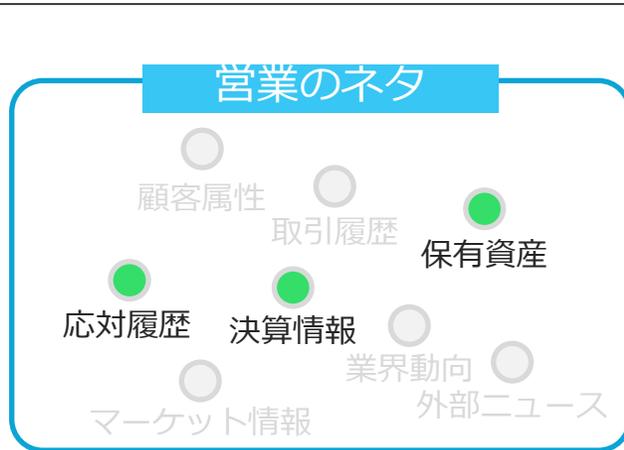
こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath Reboot™
Work.

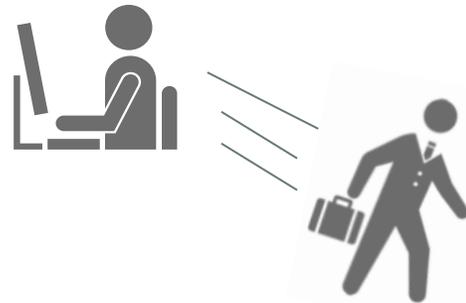
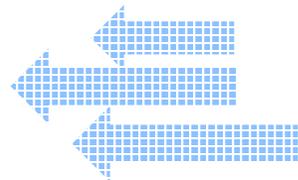
- 担当者がお客様の訪問前に実施する情報収集のRPA化により、作業不可の軽減だけでなく、インプット情報の標準化による営業など担当者の底上げをサポート。

従来



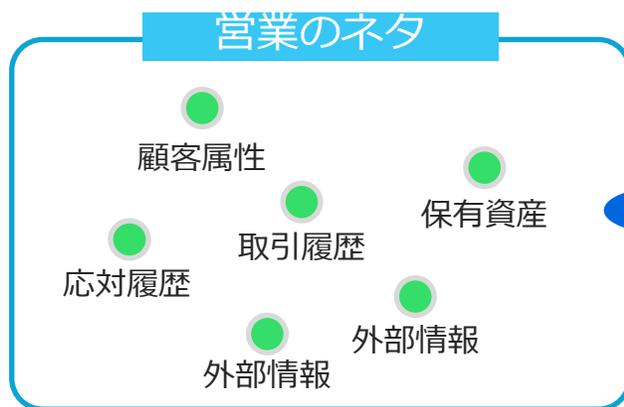
担当者自身で折衝時の参考情報を抽

出

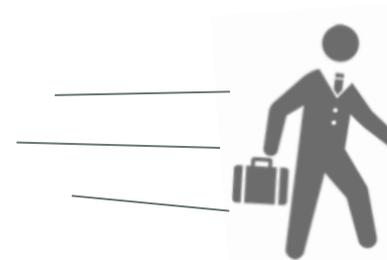
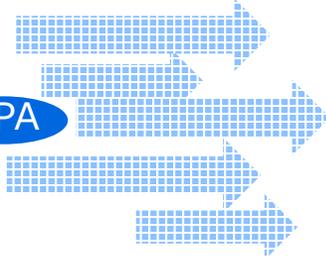


- ✗ 複数データソースに情報が分散
- ✗ 確認する情報は担当者ごとに偏る傾向
- ✗ 事前準備不足による顧客質問の持ち帰り

導入後



RPA



- ✓ 必要情報をRPAが自動収集し一覧化
- ✓ 取得項目は有識者知見を反映し標準化
- ✓ 商談時の咄嗟な質問への対応力向上

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



最新事例・活動紹介 (公共・医療領域)

国内医療機関様：事例紹介サマリ

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath Reboot™
Work.

① 国立大学法人 信州大学医学部附属病院 様

新型コロナ対策関連作業

- PCR検査（HER-SYSへの陰性者及び陽性者の検査結果結果）**入力作業の自動化** 等

医療系バックオフィス業務

- 院内の受発注管理システム（クラウドデータベース）と大学本部の財務会計システム間におけるデータ転記業務、医療材料マスタ管理業務等の**4業務について自動化**を行い、**特に、「システム間データ転記業務」では、従来作業と比較して年間1,448時間もの作業時間削減や作業品質向上を実現。**

② 私立学校法人 慶應義塾大学病院 様

医事業務

- 医事統括室業務において、電子カルテ及びDWHと、医事会計システムの連携におけるチェック業務など**6業務を自動化**。
- データの抽出にあたり、システムの仕様都合で抽出件数に限りがあるため処理を複数回実施する必要があったが、ロボットにより自動化することで、**職員の繰返し作業による負担を軽減し、抽出待ちや並行作業で分散していた集中力を回復。**

③ 社会福祉法人 恩賜財団 済生会 様

一般バックオフィス業務

- 医療機関における入金処理業務において、入金一覧表の作成や、入金仕分け・相殺業務における手作業を自動化することにより、**年間2,000時間弱もの作業時間を削減。**
- 入金一覧表作成時の誤記入が無くなったため、**誤った口座振替が無くなるなど、品質向上も実現。**

自動化業務
概要

内製／外製

- 病院職員による自動化（内製）**
 - ✓ 経営管理課 契約系の職員（ExcelやAccess等（マクロ含む）の知識を有する）が**単独で**ワークフローを作成。

- 病院職員による自動化（内製）**
 - ✓ 医事統括室の**若手職員**が**単独で**ワークフローを作成。

- パートナー企業による自動化（外製）**
 - ✓ 本部 総務部経理課の指示のもと、パートナー企業がワークフローを作成。

信州大学医学部附属病院様の事例

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath Reboot™
Work.

- 受発注管理システムと財務会計システム間のデータ転記業務、医療材料マスタ管理業務、メールアドレス毎個別ファイル添付業務等の8業務についてRPA導入を行い、**特に、「システム間データ転記業務」では、従来作業と比較してもの作業時間削減や作業品質向上を実現、他業務と合算すると年間4,559時間(R1年度/R2年度の活動通算)**しました。
- また、これらの業務に係る8ワークフロー（ロボットが実行するプロセス）の作成を事務職員2名にて行い、製品購入からわずか2か月で本格稼働を開始しました。

■ **高機能かつ開発が容易**な「UiPath」を選定し、職員が内製されました。

- 同院では、コンサルティング業者や開発ベンダへの業務委託を行わず、ノンプログラミングでの内製・スモールスタートを志向し、複数のRPA製品に係る情報収集・検証に着手した結果、以下の点を評価し、複数のRPA製品の中からUiPathを選定されました。
 - ①機能の高さ（UiPathでは画面上の要素の画像認識に加え、オブジェクト認識が可能）
 - ②ノンプログラミングでの開発・保守の容易性
 - ③既存グループウェア（G Suite）との親和性が高いChromeが活用可能であること
- 実際に開発を行った担当者は「UiPath製品は、Excel関数の利用者でも習得可能。VBA等の経験者であれば絶対使いこなせ、API連携等の高度な仕組みも構築可能。」と手ごたえを語っておられます。



信州大学医学部附属病院
経営管理課 契約係 (併)病院機能強化係
主査 白木 康浩氏

HER-SYSの入力自動化 詳細

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です

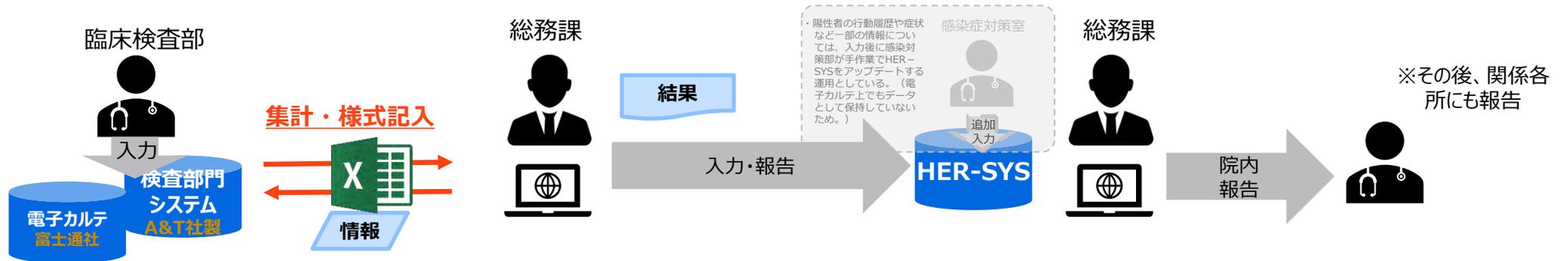


1) 院内での情報収集

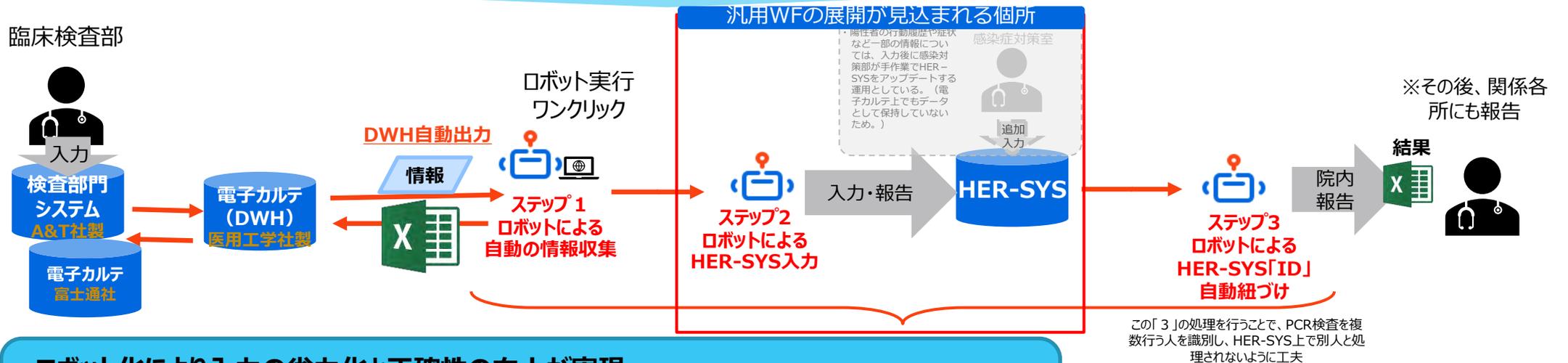
2) HER-SYSへの入力

報告

RPA導入前
HER-SYS入力
業務



RPA導入後
HER-入力
業務



- ・ロボット化により入力の省力化と正確性の向上が実現
- ・特に、電子カルテ患者IDとHER-SYS「ID」の自動紐づけにより情報精度と活用性が向上
- ・医療従事者（臨床検査技師）の入力・報告は、ロボットに移管され、完全に手を離れた。

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



HER-SYS
新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム

2020/12/25 11:46
国立大学法人 信州大学医学部附属病院 信大 総務課

Sign out

感染者等の登録と一覧

登録情報一覧

PCR検査と発生届

発生届承認一覧

発生届一覧

健康観察と発生届

発生届閲覧一覧

操作と手順

発生届マニュアル

FAQ (よくある質問)

お問い合わせ >>

新たに発生届を提出する場合、発生届の提出前に使用する場合

新たに発生届を提出

発生届を新規登録できます。
発生届に登録された情報を基に、他のタブの同一項目にも自動反映されます。
※ 複数人分の発生届を連続して新規登録することができます。

発生届の提出前に

発生届の提出前に、氏名や担当保健所、基礎疾患の有無
検査等の情報を入力してください。

入力済の情報を閲覧・編集する場合

閲覧・編集

既に入力済の情報については、こちらから閲覧・編集を行ってください。

講演ではデモ動画を投影しました

信州大学医学部付属病院 RPA推進室 実績一覧 (1)

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



開発ロボット等の名称	開発概要	開発により解消できた事項	削減時間
保険証有効期限 自動延長システム	<ul style="list-style-type: none"> 指定難病、小児慢性疾患等の公費負担患者の保険証有効期間が新型コロナウイルス流行のため自動的に一年延長となったため、医事会計システムに保持されている上記の公費負担患者の保険証有効期限を自動で1年延長するシステム。 	<ol style="list-style-type: none"> 4,000件という膨大な量の単純反復作業による担当者の徒労感を回避。 入力ミスの防止。 仮にシステムベンダーに依頼した場合に発生する開発費の削減。 	4000件×2分 (1件当たり処理時間) = 8,000分 = 133時間
G-MIS週次入力 自動転記システム	<ul style="list-style-type: none"> 毎週水曜日13時までに厚生労働省のWebサイト「G-MIS」に医療資材状況を報告する。具体的には、院内の在庫情報をGoogleフォームを用いてSPDに入力させ、その内容について経営管理課にて確認したうえで、G-MISへ自動転記させるシステム。併せて、病院長会議も自動作成し、メール下書きまで完了させるシステム 	<ol style="list-style-type: none"> 転記ミスの防止。 単純反復作業による担当者の徒労感を回避。 報告期限が設定されており、作業時間が限られていたため、担当者の心理的な負担と作業時間に弾力性がなかったことに対する有効な改善手段。 G-MIS転記を担当者以外が行える。 	52週(2020年)×20分 (1件当たり転記時間) = 1,040分 = 17時間
受発注管理・ 財務会計連携システム	<ul style="list-style-type: none"> 臨床現場からの発注依頼について受発注管理システムにより発注し納品管理を実施している。受発注管理システムに蓄積されたデータに、経営管理課にて勘定科目を補完入力したうえでRPAを起動させることにより自動的に財務会計システムへ連携し、未払伝票作成するシステム。 	<ol style="list-style-type: none"> 財務会計システムと受発注管理システムでの入力業務の2重化を解消。 転記ミスの減少、一物品一仕訳の徹底により、財務会計システムへ正確な情報が記載されデータ粒度が向上。 	24,820行×3.5分 (1件当たり転記時間) = 86,870分 = 1,447時間
電子カルテ・医事コード 変換システム	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬改定にて撮影部位に対するレセプト電算コードが詳細化された。その結果、レセプト電算コードと一対となるよう医事コードを変更した。ただ、医事コードと一対となる電子カルテコードはシステムの大幅な変更が必要となり、対応が困難であった。そのため、RPAにより電子カルテコードと医事コードの紐づけ作業を行うシステム。 	<ol style="list-style-type: none"> 転記ミスの防止。 単純反復作業による担当者の徒労感を回避。 	48,000件×2分 (1件当たり修正時間) = 96,000分 = 1,600時間

信州大学医学部付属病院 RPA推進室 実績一覧 (2)

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



開発ロボット等の名称	開発概要	開発により解消できた事項	削減時間
予算配分の自動登録システム	<ul style="list-style-type: none"> 財務課から配分される支出予算のを財務会計上へ登録する。一回当たりの作業時間は少ないが毎月あり、一定量の作業時間となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①転記ミスの防止。 ②単純反復作業による担当者の徒労感を回避。 	200件×10分 (1件当たり作業時間) = 2,000分 = 33時間
HER-SYS自動入力システム	<ul style="list-style-type: none"> 「新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(以下、HER-SYS)」について、DWHから必要情報を取得したうえで、HER-SYSへの転記作業を自動化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①転記ミスの防止。 ②単純反復作業による担当者の徒労感を回避。 ③報告期限が設定されており、作業時間が限られていたため、担当者の心理的な負担と作業時間に弾力性がなかったことに対する有効な改善手段。 ④HER-SYS転記を担当者以外が行える。 	1時間×244日 (1日当たりの作業時間) = 244時間
材料マスタ事前準備システム	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健医療材料の情報をメディエから取得することで、誤りのない情報を取得する。そのうえで、電子カルテ医療材料マスタの項目に加工し、マスタ登録用の取込エクセルを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①転記ミスの防止。 ②単純反復作業による担当者の徒労感を回避。 ③膨大な作業時間のため、作成しきれなかったマスタデータが確実に更新させるようになった。 	3時間×244日 (1日当たりの作業時間) = 732時間
健康診断集計支援システム	<ul style="list-style-type: none"> 年2回行われる職員定期健康診断において、受診票の作成・配布や検診結果の集計を行っている。職員数が多い(2,000名)上に、検診項目が多いことにより非常に負荷がかかっている。あわせて、回収した受診票を手作業でエクセルに入力している。上記業務をマークシート及びエクセルVBAにより自動化を作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ①転記ミスの防止。 ②単純反復作業による担当者の徒労感を回避。 ③膨大な作業時間のため、作成しきれなかったマスタデータが確実に更新させるようになった。 	2000名×2(年2回) = 4,000件 4,000件×5分 = 20,000分 = 333時間

慶應義塾大学病院様の事例

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



UiPath Reboot™
Work.

- **長時間麻酔患者の抽出業務、手術中輸血実施患者の抽出業務等、各種医事業務を自動化されています**

- 主に、データ抽出業務・データ転記業務を自動化されたことにより、既存システムの仕様による制約（データ抽出業務における件数上限）のために、細切れに何度も実施する必要があった単純作業を、RPAでまとめて実行できるようになり、業務効率向上

- 材料マスタ登録業務等、信州大学医学部附属病院様と共通する業務もあります

- それぞれ異なる医事会計システムを使っておられた2つの大学様ですが、どちらのシステムに係るマスタ登録業務においても、UiPath製品を用いた自動化が可能でした

- システム開発経験のない職員の方が、インターネット上で公開されているe-learning等を利用して学習され、ワークフローを内製されています

UiPath 私立大学病院 事例

慶應義塾大学病院様 UiPath活用事例

— 医事業務における活用 —

慶應義塾大学病院の情報システムの全体像とUiPath適用範囲

慶應義塾大学病院では医事統括室における業務において、RPA製品であるUiPathを活用することにより、診療データの精度向上や業務の効率化を図る一方、将来的に病院全体の医療スタッフの働き方改革や削減した時間を有効活用することで患者サービスの向上を目指しています。

UiPathによる業務の一部自動化

医事会計システム
医事管理

診療
看護

部門システム
手術

検査
臨床検査情報
細菌検査
病理検査
生体検査
輸血検査

各システムにおける業務自動化の実現

病歴管理
がん登録システム
診療情報

人事システム
財務会計システム

PACS等
画像診断

院内物流システム
物流

現状をふまえて適用範囲の拡大を検討中

現状をふまえて適用範囲の拡大を検討中

慶應義塾大学病院様における活用例（一部抜粋）

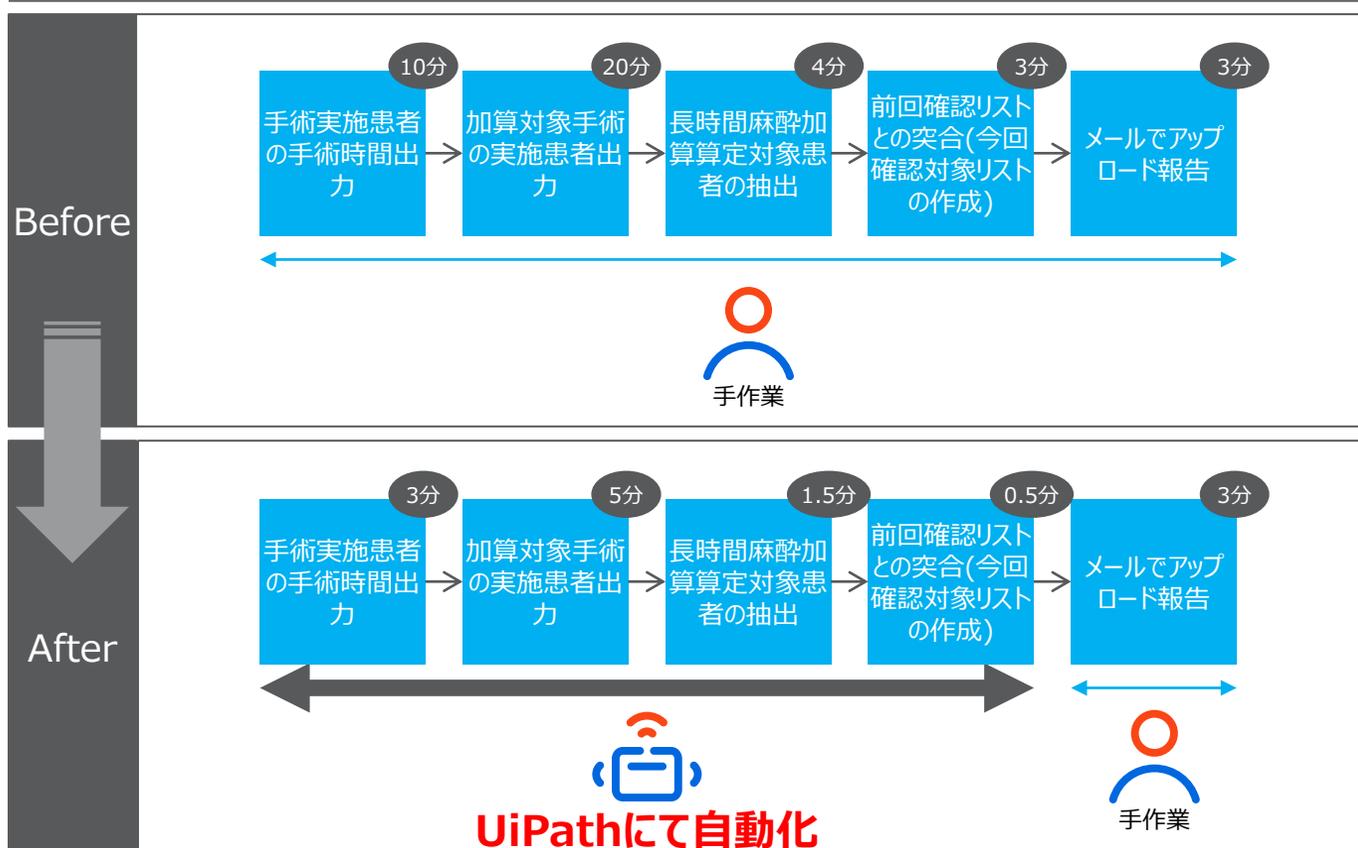
- ⇒ 長時間麻酔患者の抽出業務
- ⇒ 手術中輸血実施患者の抽出業務
- ⇒ 材料マスタ登録業務
- ⇒ 請求書と退院日が異なる患者の抽出業務
- ⇒ 経過措置薬剤への期限入力業務
- ⇒ 早期リハ加算と併算定不可リハ患者の抽出業務 等

加算漏れチェック（長時間麻酔患者の抽出業務）

「長時間麻酔を実施した患者の点数加算を確実に処理する」ことを目的とし、DWH内のデータを抽出のうえAccessと突合して付与した確認フラグをもとに職員に確認する業務を実施。従来は、データ抽出にあたり、医事会計システムの仕様都合で抽出件数に限りがあるため処理を複数回実施する必要があったが、**ロボットにより自動化することで、職員の繰返し作業による負担を軽減し他作業に注力する余剰を確保した。**

業務フロー

自動化効果等



自動化目的・背景	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 月初の算定に係る業務ピークにおいて、少しでも作業負担を抑えるため自動化に至る。
作業頻度	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 月初、週次
削減時間	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 37時間／年
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 類似業務が複数あるため、横展開による削減を実現している。(1)(2)(6) ➢ データの抽出にあたり、医事会計システムの仕様都合で抽出件数に限りがあるため処理を複数回実施する必要があったが、ロボットにより自動化することで、職員の繰返し作業による負担を軽減した。
課題・ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 加算対象手術の該当患者を出力する際に排他制御があるため、他職員が利用している場合は待ったうえで再処理をかける工夫をしている。

恩賜財団 済生会（本部）様 事例

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



- 月次の定常作業である入金一覧表作成・振替入金・入金仕訳・相殺業務を自動化されています
- 済生会本部様においてはさくら情報システム様（弊社パートナー）にワークフロー作成等を委託されました
- 済生会様の中で、本部様以外に、UiPathワークフローの内製に取り組まれている病院様もあります

現時点での評価



基本情報				
業務概要	入金一覧表作成・振替入金・入金仕訳・相殺業務			
処理件数	月平均2,500件			
担当人数	2人(従来は3人体制)			
NO.	測定要素	RPA試行前		RPA施行後
1	入金一覧表作成等	月間約21時間		月間約3時間
2	入金仕訳・相殺	8時間/日	160時間/月	約1名分のマンパワーを削減
3	作業ミス	発生率	0% (福祉の森振替入力時に入力ミスの可能性有)	0%
効果測定結果に対する評価				
評価観点	導入効果	RPA導入前	RPA導入後	評価内容
コスト	○		開発費用+ (年間ライセンス費用+年間ランニング費用)にて1名分の人件費約4百万円を削減 (ライセンス費用+業務費)	
品質・正確性	◎	全て手入力なので偶にミスがある	想定シナリオ内であれば問題なく稼働	<出来ること> ・繰り返し作業をミスなく、短時間で実行する。
スピード	◎	入金一覧表 21時間/月 入金仕訳・相殺 3名	3時間/月 入金仕訳・相殺 2名	<出来ないこと> ・振込連絡票のない送金は起票できない。

ユーザー様の感想

RPA導入後の変化

- ・従来は入金一覧表を作る際は他の仕事の手を止めて行う必要がありましたが、RPA導入後はRPAを起動してすぐに別の業務に取り掛かれるので1日で行える業務の量が増えました。これによって2名で担当していた業務を1名で行えるようになりました。
- ・入金一覧表作成時の誤記入が無くなったため、誤った口座振替が無くなりました。

RPAをいれることでの大変さ、面倒さ

- ・初めて見るエラーが出たときの対処法が全く分からない。しかもリポート契約に入っていない時は自力で直さないといけない。



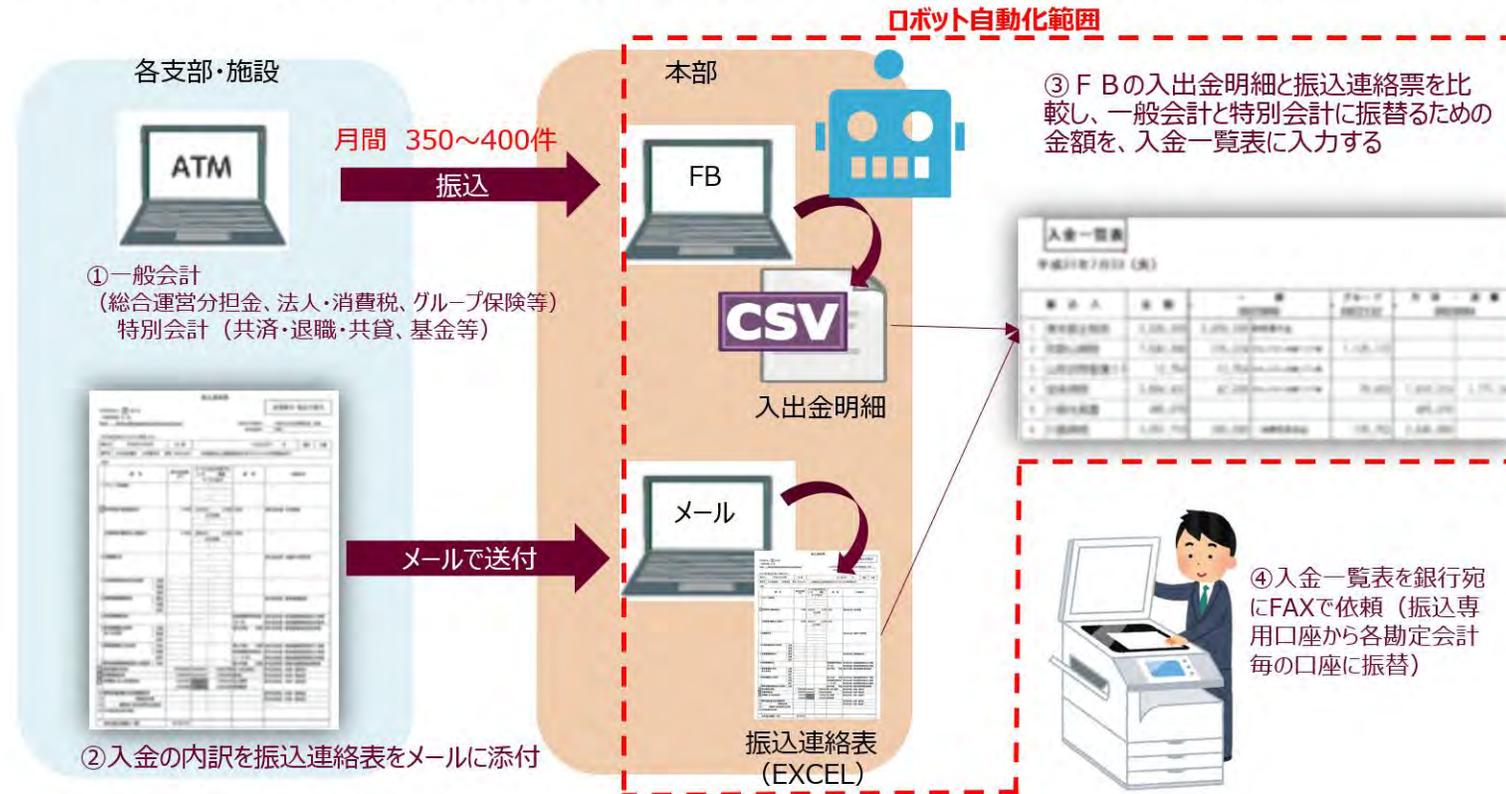
経理事務のRPA化概要 その1

さくら情報システム

振替入金業務の自動化

【業務内容】

毎日、各支部施設からの一般会計や特別会計用に振り込まれた金額について、同じく各支部施設から送付された振込連絡表をもとに、内訳を入金一覧表に記入し、本部の受入専用口座から各勘定会計毎の口座へ振替を行う。





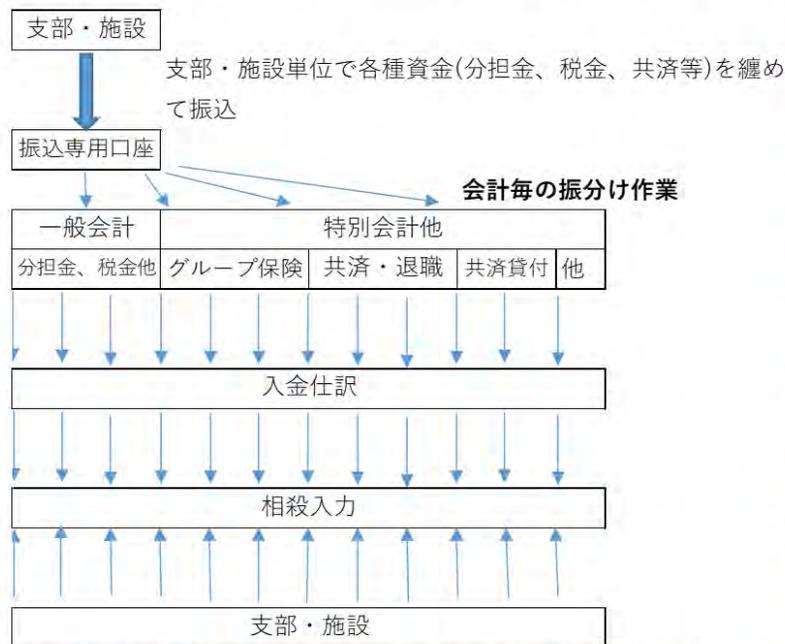
経理事務のRPA化概要 その2

入金仕訳・相殺業務の自動化

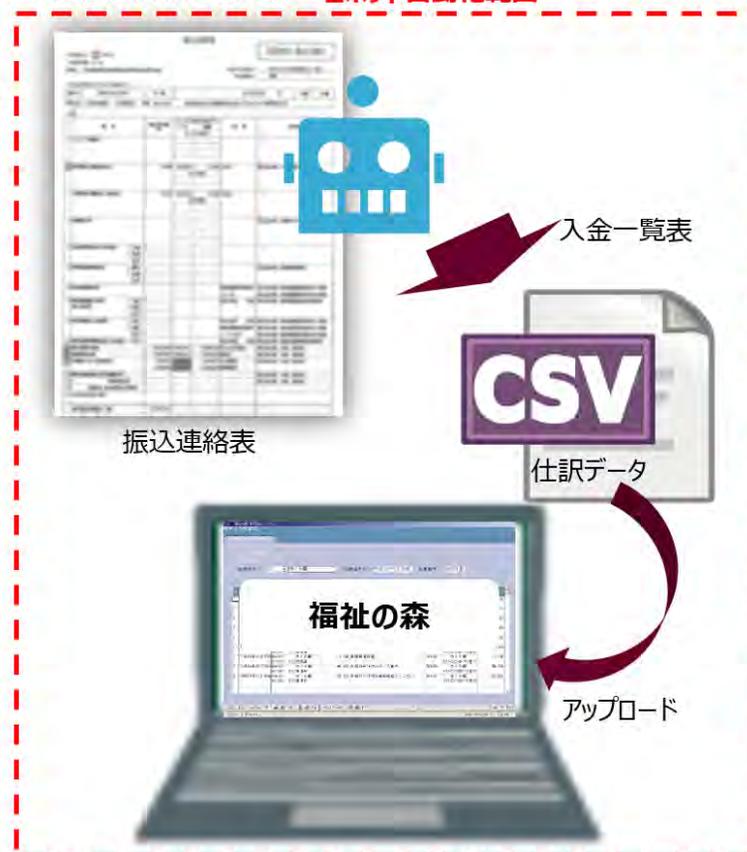
【業務内容】

支部・施設単位で各種資金(分担金、税金、共済等)を纏めて振込まれている入金明細を会計毎（一般会計・特別会計）に振分けし、会計システム「福祉の森」にアップロードし、仕訳・相殺を行う。

ロボット自動化範囲



現在、入金一覧表と振込連絡票をもとに、拠点・サービス区分毎に入力仕訳(一般会計 月平均1,041件 特別会計月平均1,500件)、相殺入力(一般会計 月平均422件 特別会計 月平均780件)を行っている



医療機関における自動化事例（医療・介護専門誌への掲載）

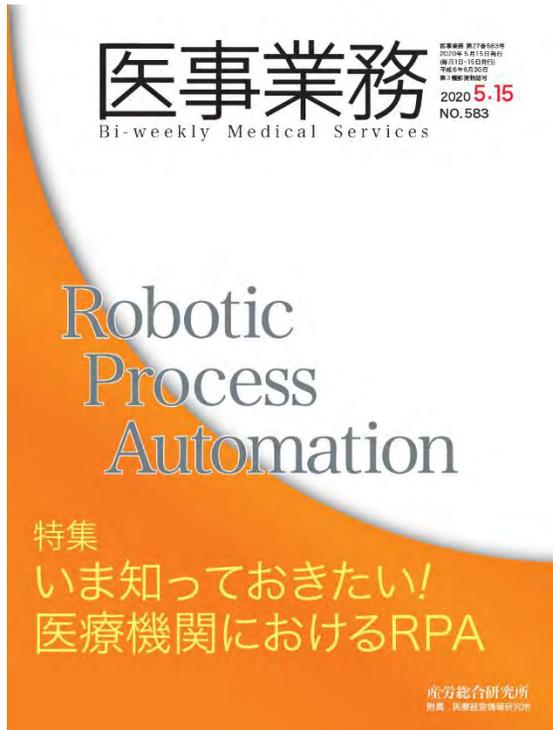
こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です



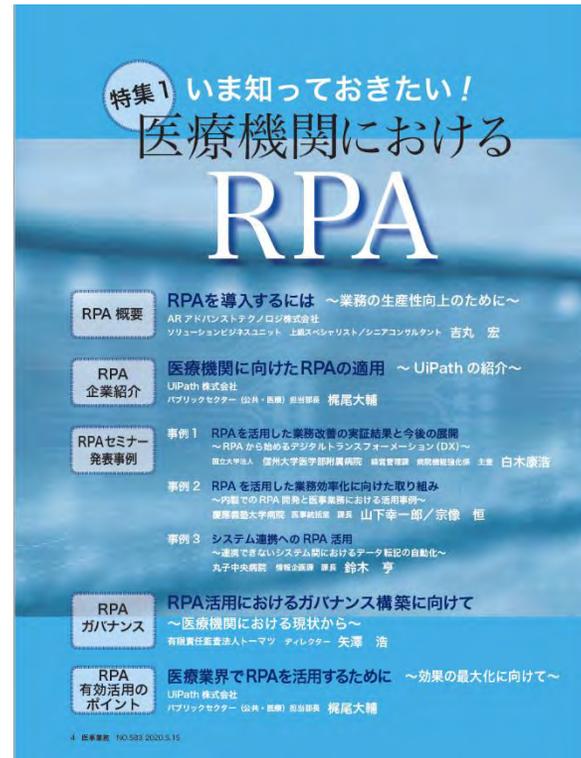
『医事業務』 RPA特集号

特集 医療機関におけるRPA

UiPath社寄稿 事例



産労総合研究所『医事業務』2020年5月15日号No.583
https://www.e-sanro.net/magazine_iryoy/iji/



病院経営を支える医事業務の専門誌である「医事業務（産労総合研究所 出版）」のRPA特集において、UiPath社は医療業界の業務効率化を推進する「RPA企業紹介」として掲載されるとともに、医療機関における「RPA有効活用のポイント」を寄稿しました。その他、医療機関におけるUiPathの活用事例も掲載されております。また、UiPath社では医療機関におけるユーザー会も開催しておりますのでご参考頂けますと幸いです。

（参考）医療現場の働き方改革で地域社会に貢献するー医療機関におけるRPA活用 <https://www.uipath.com/ja/blog/corporate/medical-institutions-seminar>

新型コロナウイルス感染症関連での実績サマリ

こちらのQRコードから
ユーザー会の参加や
問い合わせが可能です

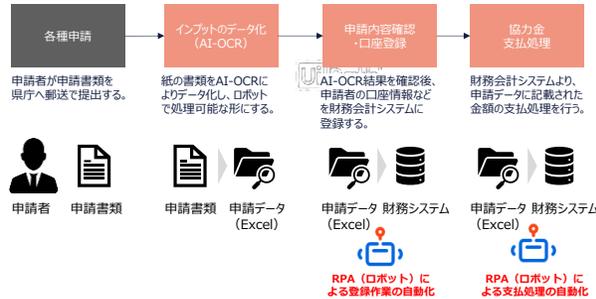


茨城県

給付（休業補償金）の支払い支援

開発期間：1週間程度

休業協力金支払業務におけるRPA適用後の業務フローイメージ



自動化の特長

- 既存のロボットの転用により、**短期間 (実質数日)** で開発
- 3万件の申請処理を自動化見込 (1日あたり1,000件を入力)**
- AI-OCRとの連携により**紙の処理も自動化**

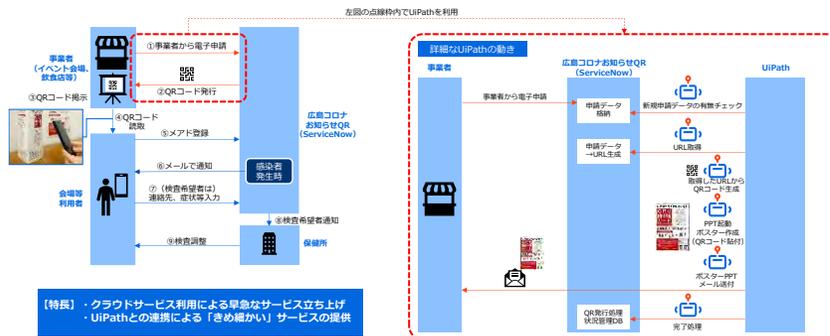
→茨城県では休業補償金の処理フロー検討の結果として、**電子申請ではなく、紙申請をAI-OCRとRPAで処理することに事務を集中**。これにより、素早い給付を実現しつつ、職員の労働の省力化を実現。

広島県

接触機会の把握支援

開発期間：1週間程度

■ 感染者の方との接触可能性をお知らせする、QRコード活用サービスを、申請管理をするクラウドサービスと連携して構築



→クラウドプラットフォームServiceNowの標準機能をRPAが拡張し、通知・ステータス管理を実現。RPAがバッチ的利用も担い、**RPAがEnterpriseシステムの一部**に。

信州大学病院等

PCR検査結果の入力等 (HER-SYS/G-MISへの入力)

開発期間：1週間程度



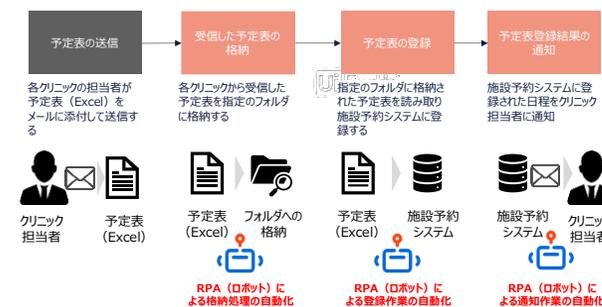
→1件あたり100以上の入力項目があるHER-SYS等について、**医療機関側の職員の手でアジャイル開発を実施し、1件あたり10～20分程度かかる入力作業を自動化**。

奈良市、別府市等

ワクチン記録登録支援 (予約システムやVRSへの登録)

開発期間：1週間程度

クリニックの空き予定の自動登録におけるRPA適用後の業務フローイメージ



自動化の特長

- 短期間 (**1週間程度**) で開発
- 約200クリニック×毎日** の登録処理を自動化

→自治体と医療機関 (医師会) の狭間にある業務として、特に個別接種の記録管理においてはSier側も医療機関側もサポート優先度が低くなっている。その登録支援をRPAがサポート。